

テーマ

豊かな暮らしを築くために

適用
分野

労働政策、労働問題、
経営戦略、子育て支援



研究
名称

日本とオーストラリアにおける子育て期の仕事と
生活の再構築

氏名
所属

中里英樹 教授
文学部 社会学科

内容

●特徴

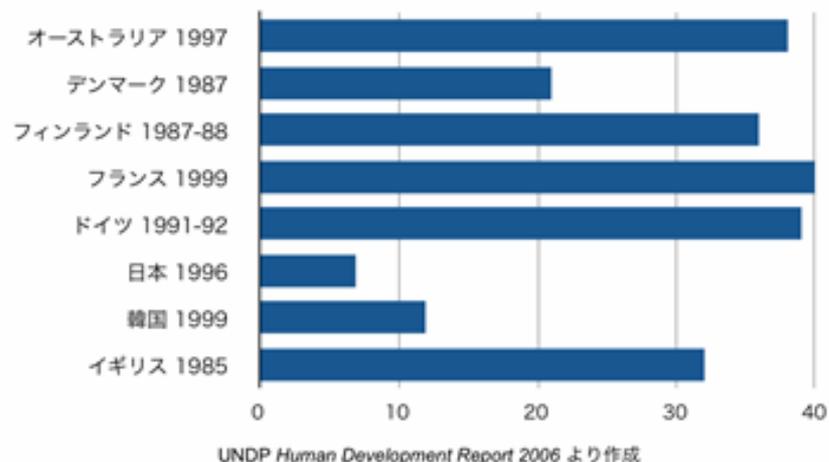
日本では、バブル崩壊以降、労働者の過重労働が社会問題になり、仕事と生活のバランス（ワーク・ライフ・バランス）という考え方への関心が高まってきた。仕事と生活の両立、ワーク・ライフ・バランスについて、特に、子育て期における家族について、日本とオーストラリアとを比較することによって仕事と生活のありかたの再構築の方策を研究している。

●研究内容

国内的にも世界的にも際限なく暮らしの中に浸透しつつある市場経済と市場労働に対して、市場化されない活動の価値とその存続のための方策を探っている。いわゆる家事・育児以外にも、生活の基盤である家の建築・改修にかかる時間、子どもの学校や地域の活動に割く時間など、GDPに表れるような「市場的な価値」を生まない活動が、オーストラリアにおいてはこれまで特に大きな位置を占めてきたと思われる。アジアから多くの移民を受け入れ、アジアの一員としての方向性を模索してきたオーストラリ

アが、世界的な市場経済化の流れの中で、こうした活動の価値をどのように存続させていくのか、また日本においてそのようなかたちの「暮らしの豊かさ」を築いていくことはどのようにして可能になるのか。その答えを見つけることが本研究の目的である。

男性の1日あたり総労働時間に占める非市場的活動の割合（%）



キーワード

ワーク・ライフ・バランス、仕事、働き方、子育て、労働、男女共同参画、男女平等、ジェンダー

連携方法

■ 講演 ■ 研修 ■ 研究相談 ■ 学術調査 ■ コメント ■ 共同研究